

株式会社ゼットン(3057)

# 決算説明資料

2017年2月期

**zetton** Inc.

当資料は株式会社ゼットンが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

# 目次

---

## 決算概要 ..... 3

決算サマリー

連結損益計算書概要

売上高の変動要因分析

営業利益の変動要因分析

既存店の状況

連結貸借対照表概要

キャッシュ・フロー計算書概要

四半期業績の推移

通期業績計画

## トピックス ..... 13

決算のポイント

事業区分について

売上構成比

事業区分別状況

アロハテーブル事業

ダイニング事業

ビアガーデン事業

ブライダル事業

インターナショナル事業

## APPENDIX..... 23

店舗数の推移

売上高 / 経常利益の推移

# 決算概要

2017年2月期

# 決算サマリー

## 売上高

**連結売上高は9,908百万円** (前期比97.7%、233百万円減)  
(既存店比率98.7%)

将来の収益性向上を見据えた不採算店舗の撤退  
及び既存店舗の伸び悩み等により減収となりました。

## 利益

**営業利益は219百万円、経常利益は335百万円**

不採算店舗の撤退による減益要因の解消と出店ペースの見直し効果等により  
営業利益は前期比313百万円増の219百万円となり黒字化いたしました。

## 特別損失

**事業構造改革を推進**

不採算店舗の減損や店舗の閉鎖等により、1,010百万円の特別損失を計上。

## 店舗数

**当期末店舗数は77店舗**

4店舗を新規出店した一方で6店舗を閉店。前期比2店舗減。

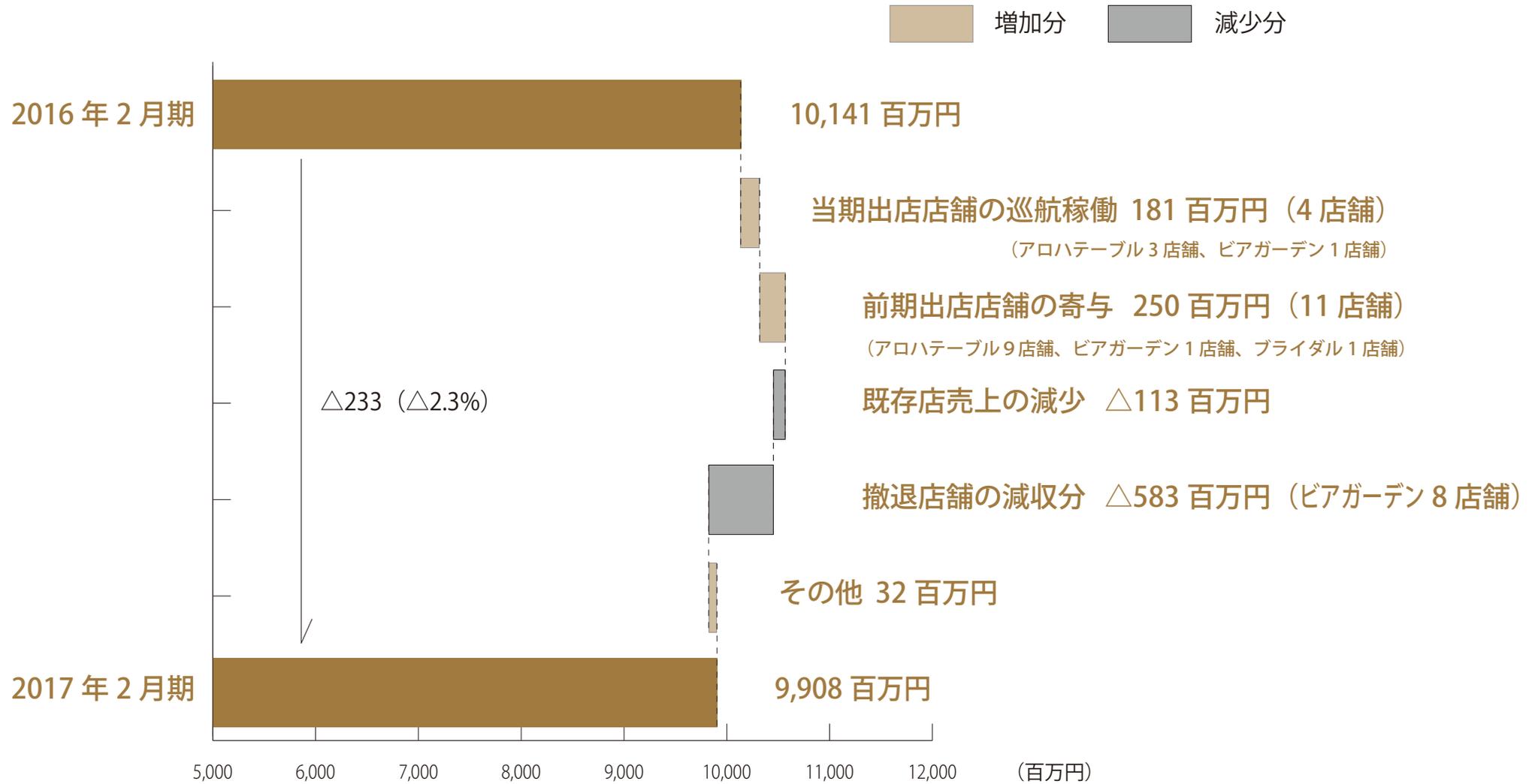
# 連結損益計算書概要

(百万円/%)

	2016年2月期	2017年2月期	増減	前年同期比
<b>売上高</b>	<b>10,141</b>	<b>9,908</b>	<b>△233</b>	<b>97.7</b>
売上原価	3,059	2,959	△100	96.7
売上総利益	7,082	6,949	△132	98.1
販売費及び一般管理費	7,175	6,729	△446	93.8
<b>営業利益</b>	<b>△93</b>	<b>219</b>	<b>313</b>	<b>—</b>
営業外収益	141	136	△4	96.7
営業外費用	23	21	△2	90.9
<b>経常利益</b>	<b>24</b>	<b>335</b>	<b>310</b>	<b>—</b>
特別利益	0	64	64	—
特別損失	366	1,010	643	—
税引前当期純利益	△341	△610	△268	—
<b>当期純利益<sup>※</sup></b>	<b>△233</b>	<b>△442</b>	<b>△208</b>	<b>—</b>

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

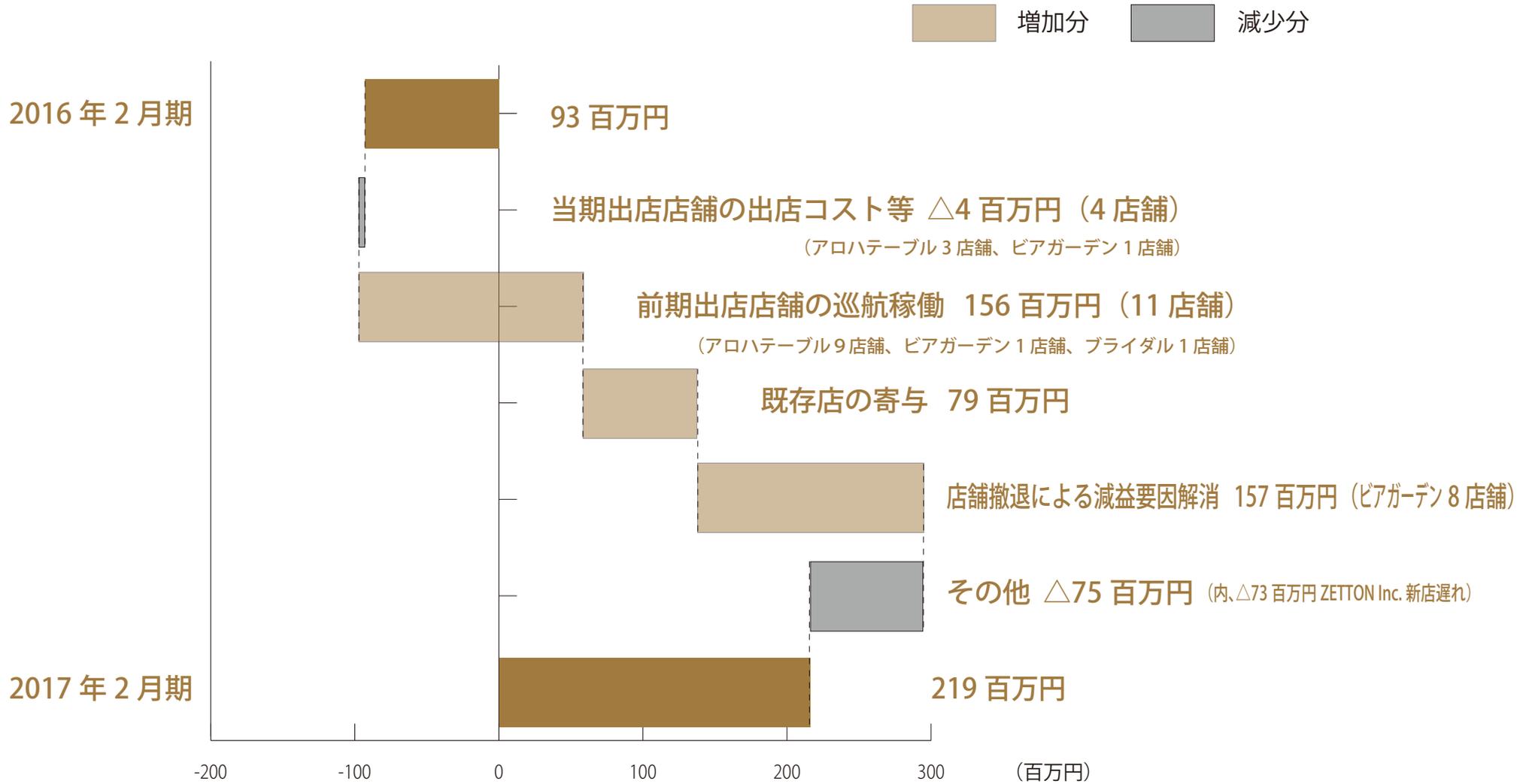
# 売上高の変動要因分析



※FC店舗においては、加盟店の出店時に加盟金を、出店後は毎月ロイヤリティー等を売上計上しております。

※既存店：開店から24ヶ月以上経過した店舗

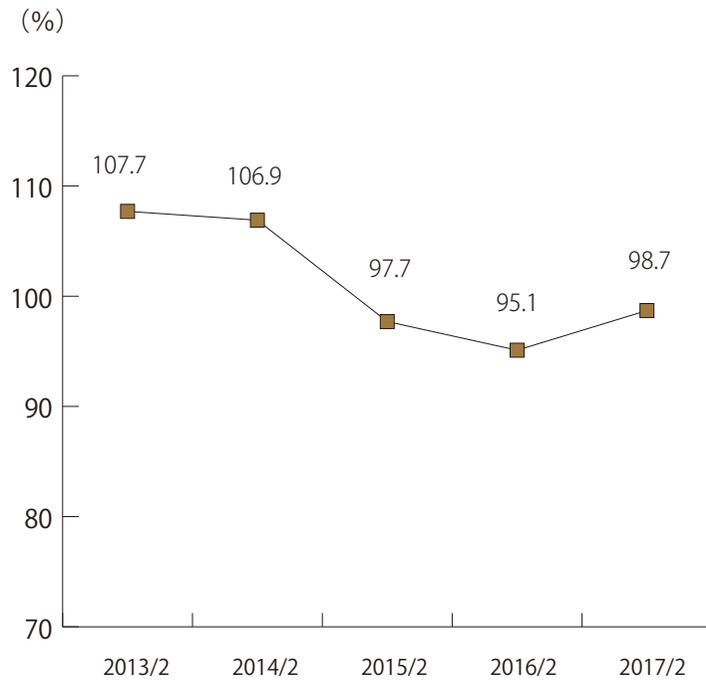
# 営業利益の変動要因分析



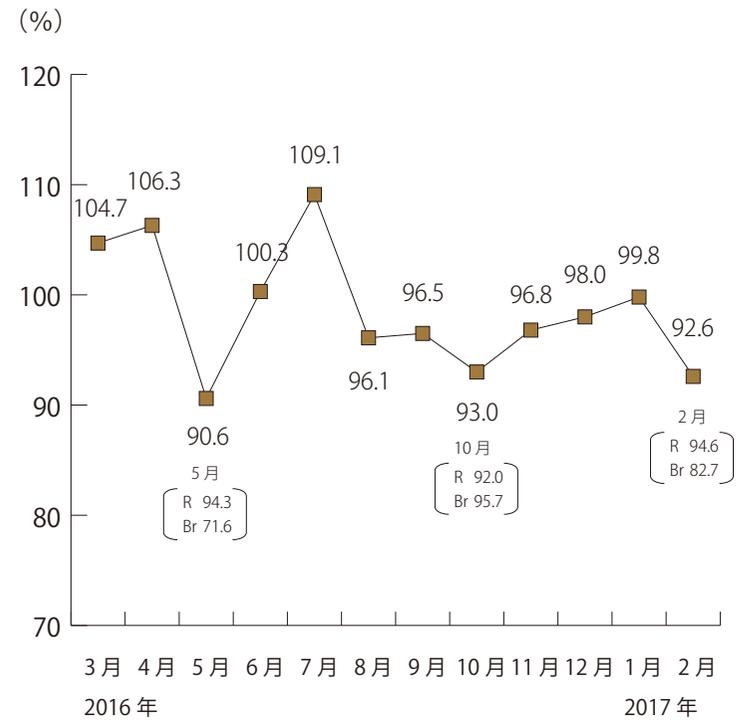
# 既存店の状況

## 既存店売上高の前年同期比推移

既存店売上高前年同期比



月別既存店売上高前年同期比



# 連結貸借対照表概要

(百万円)

【資産の部】	2016年 2月期末	2017年 2月期末	増減
<b>流動資産</b>	<b>1,083</b>	<b>1,083</b>	<b>0</b>
現金及び預金	664	687	23
売掛金	135	130	△5
その他	283	266	△17
貸倒引当金	△0	△1	△0
<b>固定資産</b>	<b>2,825</b>	<b>1,912</b>	<b>△913</b>
有形固定資産	2,163	1,105	△1,057
建物・建物付属設備	1,689	802	△886
器具備品	250	104	△146
建設仮勘定	12	151	139
その他	211	47	△163
無形固定資産	23	17	△6
投資その他の資産	638	789	150
<b>資産合計</b>	<b>3,908</b>	<b>2,995</b>	<b>△912</b>

【負債の部】	2016年 2月期末	2017年 2月期末	増減
<b>流動負債</b>	<b>1,565</b>	<b>1,506</b>	<b>△58</b>
買掛金	405	394	△11
短期借入金/1年内返済予定長期借入金	456	394	△61
その他	703	718	14
<b>固定負債</b>	<b>1,466</b>	<b>1,084</b>	<b>△382</b>
長期借入金	1,155	886	△269
その他	310	198	△112
<b>負債合計</b>	<b>3,031</b>	<b>2,591</b>	<b>△440</b>

【純資産の部】	2016年 2月期末	2017年 2月期末	増減
<b>株主資本</b>	<b>877</b>	<b>404</b>	<b>△472</b>
資本金	379	379	0
資本剰余金	301	301	0
利益剰余金	196	△277	△473
その他包括利益累計額等	△0	0	1
<b>純資産合計</b>	<b>876</b>	<b>404</b>	<b>△472</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>3,908</b>	<b>2,995</b>	<b>△912</b>

# キャッシュ・フロー計算書概要

(百万円)

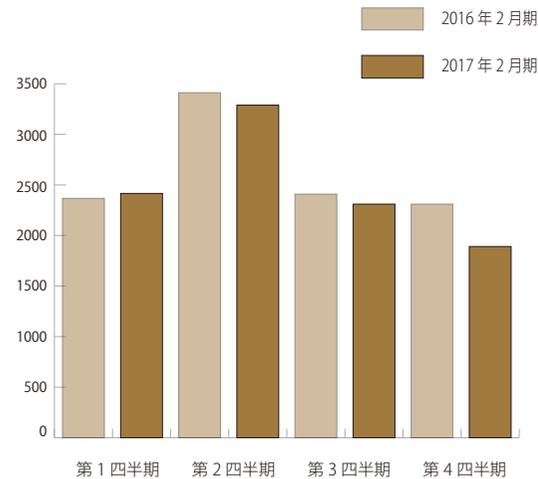
	2016年2月期	2017年2月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	447	684	236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△751	△222	529
フリーキャッシュ・フロー	△303	462	766
財務活動によるキャッシュ・フロー	302	△431	△734
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	8	37
現金及び現金同等物の増減額	△30	38	68
現金及び現金同等物の期首残高	679	649	△30
現金及び現金同等物の期末残高	649	687	38

# 四半期業績の推移

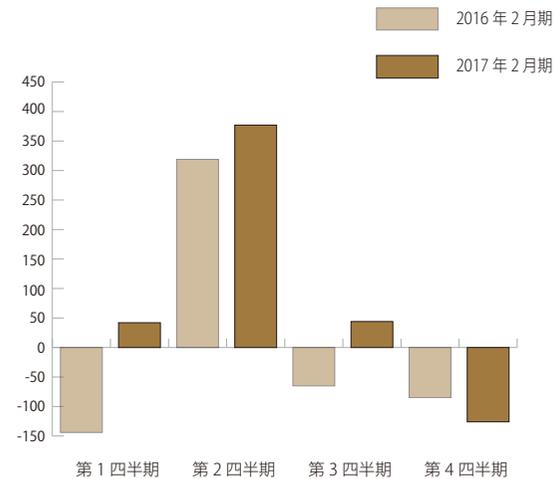
(百万円)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	2017年2月期	2,416	3,289	2,310	1,892
	2016年2月期	2,367	3,412	2,409	1,952
経常利益	2017年2月期	42	375	44	△127
	2016年2月期	△144	319	△65	△85

売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



# 通期業績計画

(百万円)

	2017年2月期 実績	2018年2月期 2Q計画	2018年2月期 通期計画
売上高	9,908	5,000	9,000
営業利益	214	340	405
経常利益	335	335	400
当期純利益 <sup>※</sup>	△442	164	156

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

## 【通期計画における前提条件】

売上高は店舗減により減収も、利益について継続的な事業整理により増益計画。

- ・ 既存店売上高前期比：100.4%
- ・ 新規出店計画：3店舗（国内1店舗、海外2店舗）
- ・ 閉店計画：事業見直しにより特別損失160百万円を見込む。

# トピックス & 事業区分別説明

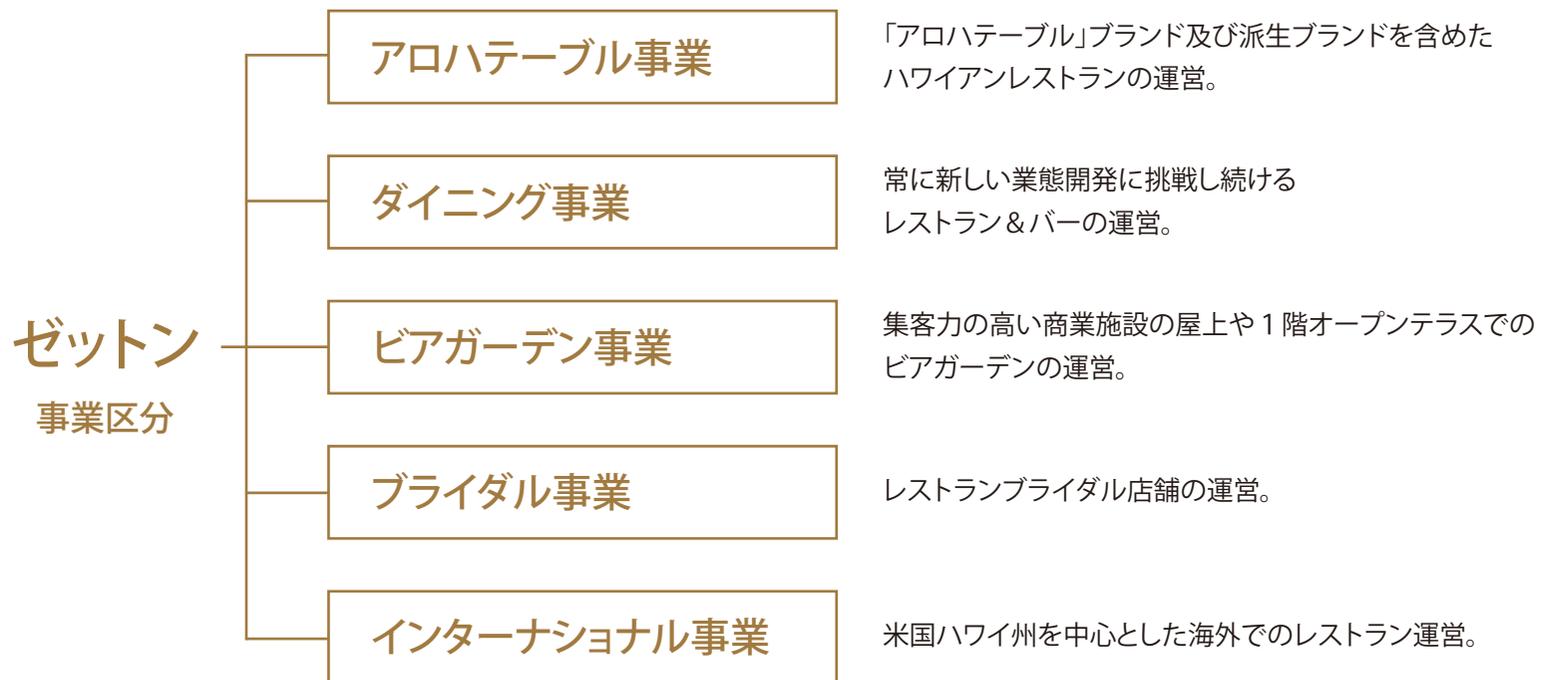
## 2017年2月期 決算のポイント

- ・不採算店舗の徹底的な見直しを実施
- ・売上高は前期比97.7%となったものの営業利益は前期比313百万円増の219百万円と黒字化いたしました。
- ・既存店舗の収益力見直しによる減損や店舗閉鎖等により1,010百万円の特別損失を計上したことで当期純利益については△442百万円となりました。

# 事業区分について

## 弊社の事業区分

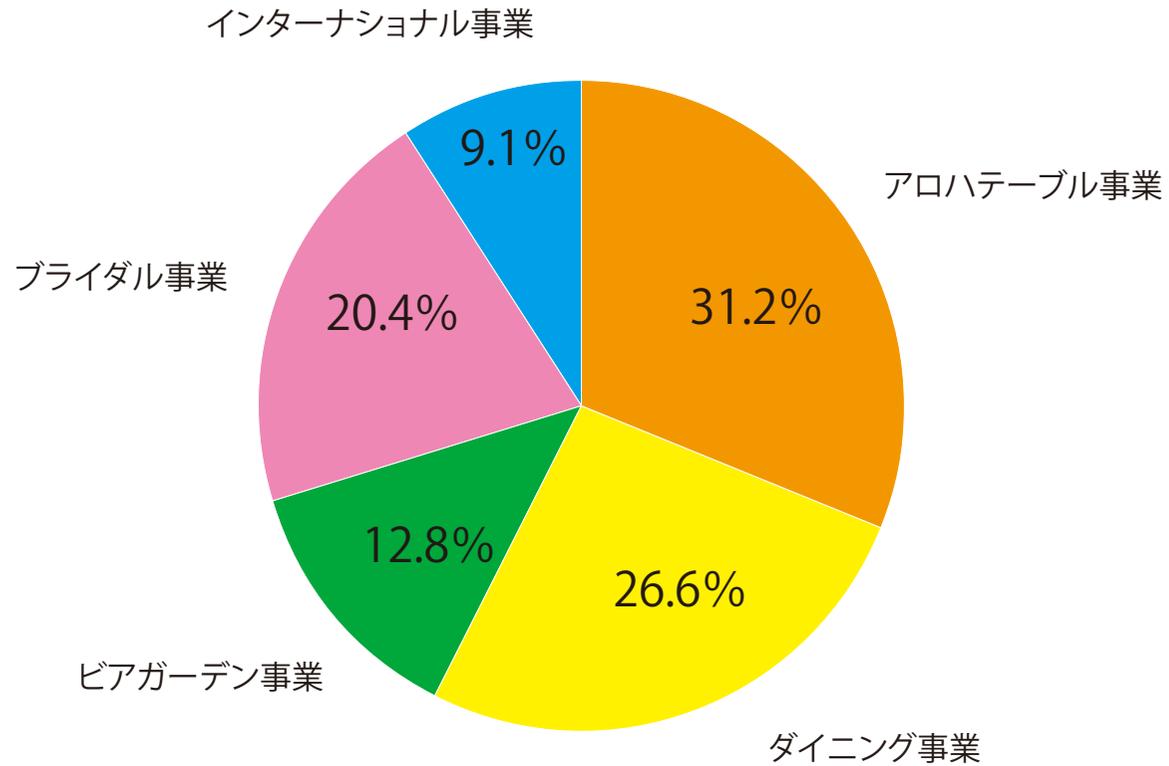
弊社の成長戦略に沿った新しい事業区分を2016年2月期から導入しています。



# 売上構成比

## 事業区分別売上構成比

2017年2月期:売上高9,908百万円



## 事業区分別状況

(百万円)

		2016年2月期	2017年2月期	増減
アロハテーブル事業	売上高	2,809	3,089	280
	営業利益	△40	128	168
ダイニング事業	売上高	2,636	2,634	△2
	営業利益	306	340	33
ビアガーデン事業	売上高	1,726	1,267	△459
	営業利益	44	209	164
ブライダル事業	売上高	2,070	2,017	△52
	営業利益	179	197	18
インターナショナル事業	売上高	899	899	0
	営業利益	99	24	△74
本部	売上高	—	—	—
	営業利益	△682	△680	2
全社	売上高	10,141	9,908	△233
	営業利益	△93	219	313

# アロハテーブル事業

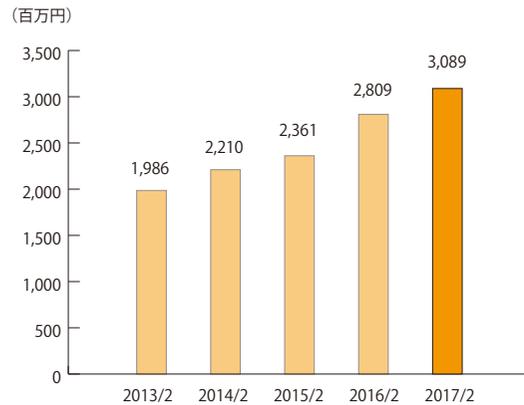
売上高： 3,089百万円

営業利益： 128百万円

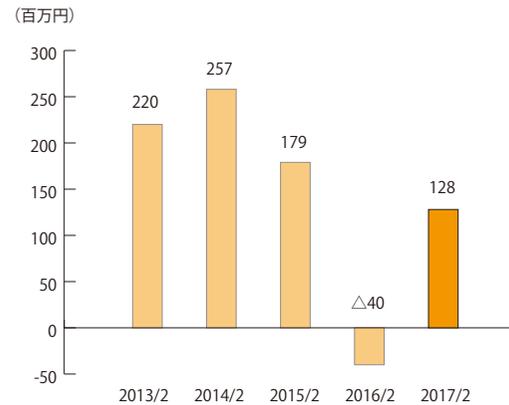
既存店： 96.9% (前年比)

店舗数： 36店舗

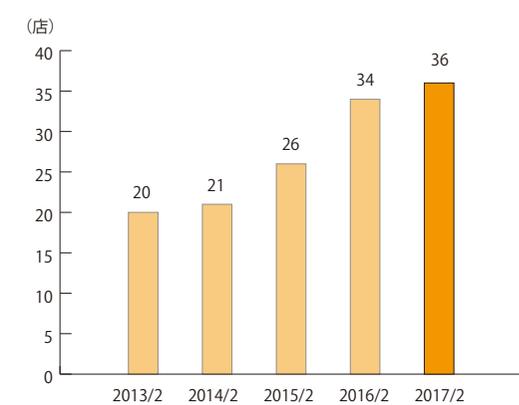
## 売上高推移



## 営業利益推移



## 店舗数推移



## 2017年2月期のポイント

新規店舗(前期及び当期)の売上貢献により、売上高は前期とくらべ280百万円増加し3,089百万円(前期比110.0%)となりましたが、既存店売上高は前期比96.9%で推移しました。また、新規出店ペースを見直したことにより出店コストが低下し、営業利益は128百万円(前期△40百万円)となりました。

## 今後の見通し/施策

女性に偏りがちな顧客の男女比率の見直し、カフェ利用からディナー利用へのメニュー改訂などのマーケティングの見直しにより業態調整に取り組み、客単価の向上による収益力強化を目指しています。

# ダイニング事業

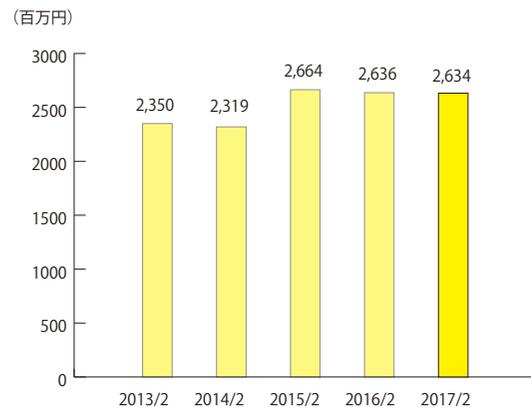
売上高： 2,634百万円

営業利益： 340百万円

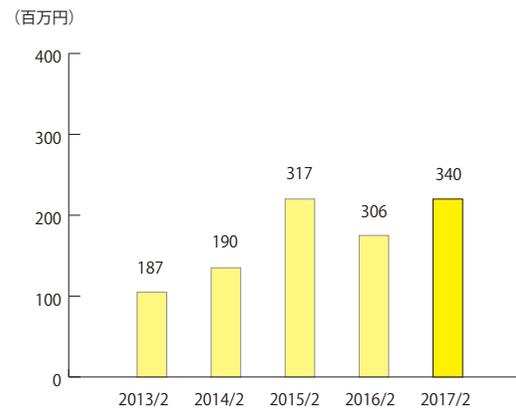
既存店： 98.1% (前期比)

店舗数： 21店舗

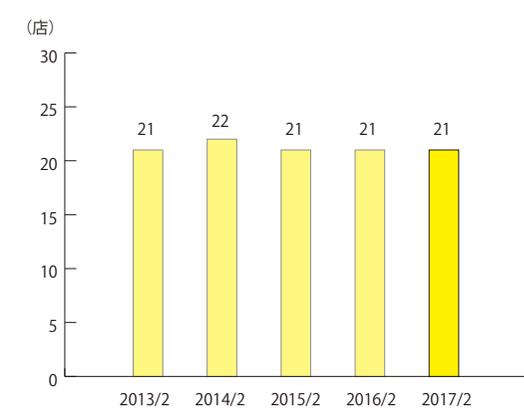
## 売上高推移



## 営業利益推移



## 店舗数推移



## 2017年2月期のポイント

既存店売上高は98.1%にて推移し、売上高は2,634百万円(前期比99.9%)、営業利益は340百万円(前期比111.1%)となりました。

## 今後の見通し/施策

これまで以上に強固なマーケティングを行っていくため、ダイヤモンドダイニンググループのDDマイルを活用した顧客の囲い込みや売上向上に努めていきたいと考えています。また、ダイニング事業については引き続き弊社の創業事業として位置づけてまいります。

# ビアガーデン事業

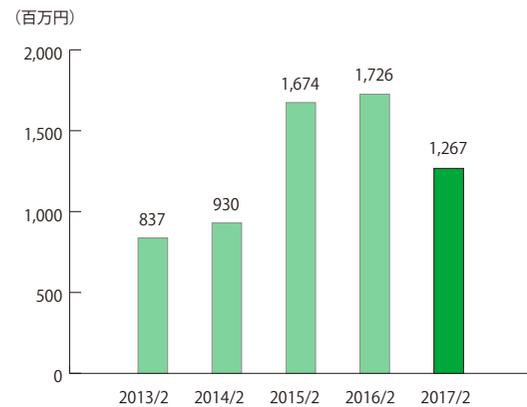
売上高： 1,267百万円

営業利益： 209百万円

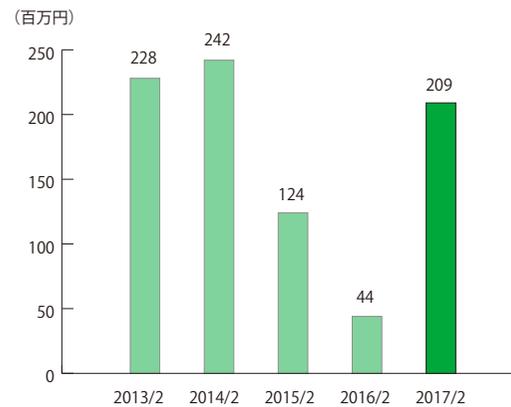
既存店： 104.6% (前年同期比)

店舗数： 10店舗

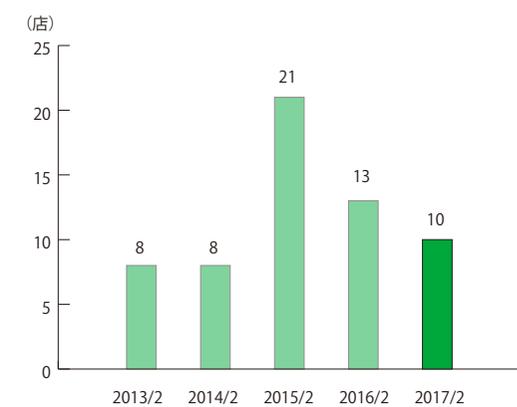
## 売上高推移



## 営業利益推移



## 店舗数推移



## 2017年2月期のポイント

前期から低収益店舗の撤退を進めていることにより売上高は1,267百万円(前期比73.4%)となりましたが、減益要因の解消、自社開発した自動配席システムがうまく稼働したことなどにより店舗効率が向上し、営業利益は大幅に改善し209百万円となりました。

## 今後の見通し/施策

既存店については収益性をより高める施策に取り組むとともに、新規出店については弊社の運営するビアガーデンに相応しい立地を重視し、高い収益性が見込まれる店舗を厳選して出店を行っていきます。

# ブライダル事業

売上高： 2,017百万円

営業利益： 197百万円

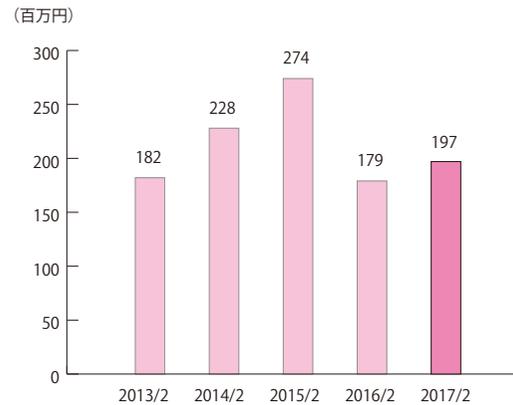
既存店： 98.2% (前年同期比)

店舗数： 4施設7店舗

## 売上高推移



## 営業利益推移



## 店舗数推移



## 2017年2月期のポイント

披露宴の少人数化に伴い組単価は引き続き低下傾向にありますが、顧客ニーズとのマッチング効果が高いネット広告の比重を高めたことで受注件数は増加しており売上高は2,017百万円(前年同期比97.5%)、営業利益は197百万円(前年同期比110.1%)となりました。

## 今後の見通し/施策

顧客嗜好に合わせたターゲティング広告などのネットマーケティングの強化に取り組むなど、組単価下落の影響を回避しながら受注件数の拡大に努めてまいります。

# インターナショナル事業

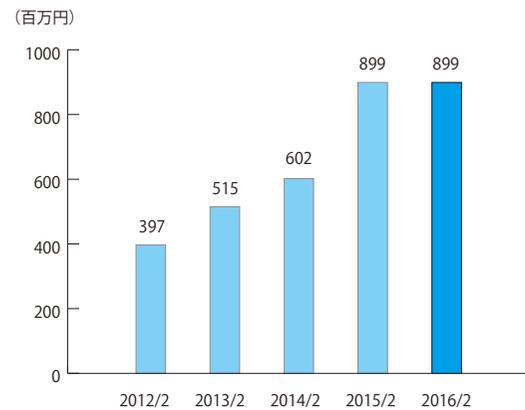
売上高： 899百万円

営業利益： 24百万円

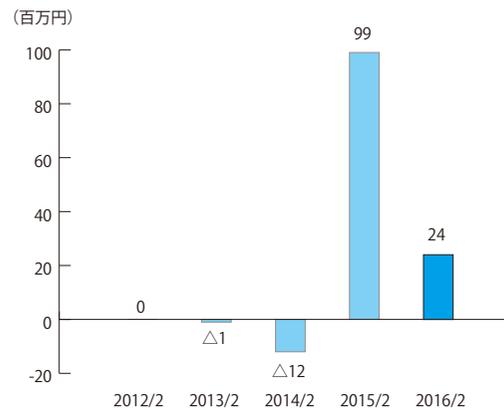
既存店： 99.6% (前年同期比)

店舗数： 3店舗

## 売上高推移



## 営業利益推移



## 店舗数推移



## 2017年2月期のポイント

営業利益は、現在開発中である新規店舗の出店遅延の影響により大幅に減少し24百万円(前年同期比24.5%)となりました。一方、既存店舗3店舗は引き続き好調に推移しており、売上高は前期と同水準の899百万円(前年同期比100.0%)となりました

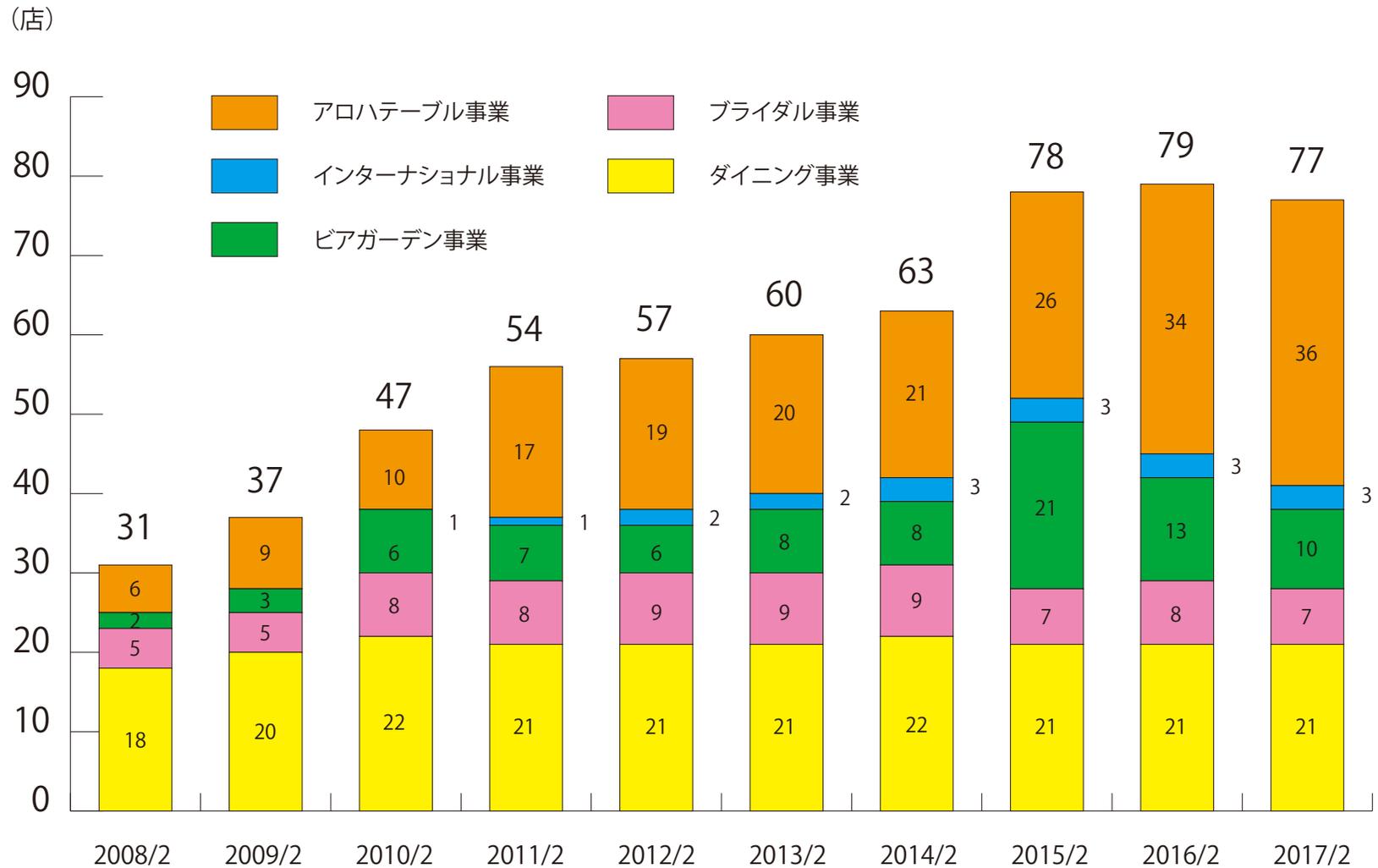
## 今後の見通し/施策

2018年2月期の上期中に、和業態のレストランとフレンチビストロの新業態2店舗を出店する予定です。2018年2月期の下期においては新規2店舗の売上貢献が見込めるものと考えています。

# APPENDIX

# 店舗数の推移

## 事業区別の店舗数推移



# 売上高／経常利益の推移

